

## 首都圏ミートパッカー輸出推進協が総会、役員改選では阿部代表理事ら再任

首都圏ミートパッカー輸出推進協議会(代表理事＝阿部昌史・㈱ミート・コンパニオン代表取締役)はこのほど、第13回定期総会を開催。令和6年度事業報告や令和7年度事業計画(案)などを審議し、上程全議案が承認された。任期満了に伴う役員選任では代表理事に阿部氏、副代表理事に原田知昌、齋藤義一の両氏、理事に音田敏彦、森島了、宮健一、河上貴一、柴原篤史、宮下義史、小原和也、山田彰男の各氏を再任。さらに会計監査役には植井敏夫氏を再任した。令和7年度も販売促進活動のために専門家・海外バイヤーなどを派遣・招へいして日本産畜産物の輸出拡大を図る。

阿部代表理事はあいさつで「日本産牛肉の輸出は一時的に伸び悩んだ時期もあったが、近年は2年連

続で過去最高を更新し、堅調に推移している。2025年に入り、米国における関税措置の影響で輸出の先行きには依然として不透明な要素が残っているが、中国向け輸出再開の見通しが立ち始めており、今後の需要拡大にも期待が高まっている。このような流れを好機と捉え、情勢の変化を注視しつつ、新たな輸出先の開拓にも取り組んでいく必要がある」と強調。「海外市場への輸出は、和牛の需給バランスの安定や適正な価格形成に不可欠な要素であり、需要喚起に向けた取り組みが求められる。今年度も輸出力強化への支援策として、当協議会が加入している日本畜産物輸出促進協会実施の販売促進活動のための派遣・招へい事業が実施されているので、ぜひ活用していただきたい」と呼びかけた。